



2019宮崎プロアマオープン

4月18～21日/宮崎エースレーン

佐藤まさみが 34歳のバースデー



▲昨年の全日本選手権優勝から「こんなに早く優勝できるとは思ってなかった」と佐藤

平成最後のプロ公式戦となったJLBC九州フェスティバル「2019宮崎プロアマオープン」は、プロ120名、アマ30名が参加して行われたが、決勝当日が34歳の誕生日という巡り合わせの佐藤まさみ(42期・ダイトスターレーン/ABS)が大会初制覇で、通算タイトル数を5と伸ばした。(主催:JLBC九州ボウリング場連合協議会)

予選はA、Bシフトに分かれ10Gを投球、各シフト上位16名、計32名が4名ずつの8ブロックに分かれ2回戦総当たりのラウンドロビン(6G)を行い、各ブロックの上位2名、計16名が1Gマッチの決勝トーナメントに進出した。

決勝トーナメントは、各ブロックの1位通過者が1回戦で全員姿を消すという、まさかの展開。そのトーナメントを準決勝まで勝ち進んだのは、Aゾーンでは、昨年に続くベストアマを決めた14歳、中学3年生の中島瑞葵選手と、1回戦で堂元美佐に193:192の1ピン差で勝ち進んだ佐藤まさみの二人。Bゾーンでは、いずれもノンタイトルの小久保実希と本橋優美が勝ち上がった。

Bゾーン準決勝

4フレをオープンの本橋が5フレからのダブルで挽回すると、「緊張で手が汗びっしょりだった」と振り返った小久保は6、7フレと連続カバミスでオープンにしたのが響き、本橋が190:176で勝ち進んだ。

Aゾーン準決勝

ここまで快進撃の中島選手だったが、さすがに「緊張で手が震えた」と、本来の思い切りのいいボウリングはできず、6フレからフォースの佐藤が210:187と突き放し、優勝決定戦進出を決めた。

優勝決定戦

3フレ、内ミスのラッキーなストライクでターキーの本橋だったが、「チャンスと思ったら余計緊張してきて、また内ミスをしてしまい、今度はスプリット」でオープン。続く5フレは②④⑤をカバーミスで連続オープン。佐藤は3フレ③⑥⑦⑩のスプリットをナイスカバーで切り抜けると、7フレの④⑤も見事なコントロールでピンチを脱出。6フレからダブルの本

橋が2ピン追いかける形で迎えた10フレ、1投目はともに⑦のピンを残したが、本橋は「緊張して引っ張ってしまった」とミス。この時点で勝負は決まった。

佐藤は「⑦のピンは得意ではないので、先に私が投げていたら、どうなっていたかわからない」と振り返ったが、196:186で制し、自らの誕生日を祝う5勝目を挙げた。

◎佐藤のコメント

兄(佐藤秀樹・46期)がこっちに来るギリギリで新しいボールをドリルしてくれて、こちらにきてから調整をして使用しま

した。普段はそういうことはないけど、ひらめきというか、気になったらやっぱり持っていた方がいいですね。4人残ったなかで自分だけがタイト

ルホルダーというような意識はなかったけど、みんな若いなと思いました。自分が最年長でしたから。また誕生日が決勝の日で、優勝できたら両親も喜ぶだろうなという思いはありましたが、本当にできるとは思っていませんでした。(優勝ボール:コロンビア300ムーブメント)

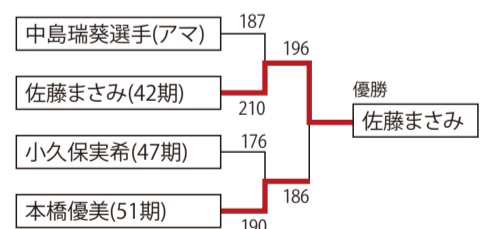


▲「2年連続ベストアマの中島選手」これまで残れるとは思ってなかったの
で、夢のような気持ちだった



▲ベストドレッサー賞は鈴木理沙が受賞

▲新人戦に続いての3位タイに「次は3位以上を目指します」と小久保



優勝決定戦

佐藤まさみ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	26	46	65	85	105	123	141	160	179	196
本橋優美	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	30	57	76	85	94	123	143	158	177	186

トーナメントカレンダー

《アマチュア》	
5月11日(土)～12日(日)	NBF 第46回西日本選手権 坂出中央ボウル(香川)
5月17日(金)～19日(日)	JBC NHK 杯第53回全日本選抜選手権 新狭山グランドボウル(埼玉)
5月18日(土)～19日(日)	NBF 第45回東日本選手権 盛岡スターレーン(岩手)
5月31日(金)～6月2日(日)	JBC 第45回全日本実業団産業別選手権 桜橋ボウル(大阪)
6月1日(土)～2日(日)	BPAJ 第53回全国ボウリング競技大会 名古屋グランドボウル(愛知)
6月7日(金)～9日(日)	JBC 第32回オールジャパンレディストーナメント キスケボウル(愛媛)
6月8日(土)～9日(日)	ABBF 第45回東日本選手権 川崎グランドボウル(神奈川)
《プロ・オープン》	
5月25日(土)～26日(日)	グリコペンティーンアイス杯第7回プロアマ 神戸六甲ボウル(兵庫)